

中国 5 県休眠預金等活用事業 2020

公 募 結 果

■ 概要

選考結果	採択
団体名	特定非営利活動法人西部ろうあ仲間サロン会
代表者名	森田 忠正
申請事業名 主題	まちの誰もが集まる場所
申請事業名 副題	ろう者が考え行動する、まりの「おうち時間」創出事業
エリア／テーマ	【鳥取県】 障がい者の居場所づくりと就労支援・自立支援を目指した整備等の環境づくり
解決すべき社会課題	⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援 ⑥地域の働く場づくりの支援 ⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
申請事業の概要	<p>①地域交流活動事業 [交流] カフェの開催や、地域の学校・企業・公民館活動等での交流活動を通じて、ごく自然な形でろう者と地域住民とがコミュニケーションを取り合える機会を創出します。手話を学ぶことだけでなく、ろう者やその他コミュニケーションを取ることに困り感を抱えている人にも理解を示せる地域住民を増やしていきます。</p> <p>②サロンスタジオ事業 [役割] 書き言葉のない手話は、ほとんどが保存されておらず、手話を使うろう者の歴史も風化される恐れがあります。また、地域の手話の保存も同様です。この取り組みを通して、高齢ろう者の長年の苦難、差別と闘った歴史を保存していきます。保存した内容は、手話学習者への教材としての活用だけでなく、人権学習や企業研修等への活用にも広げていきます。また、語り部の育成にも力を注ぎます。その他、地域住民へのスタジオの貸出なども行い、町の話題などを発信されるなど、地域住民が自由に活用できる体制も整えたいと思います。新型コロナウイルス感染拡大は、人々との距離を遠ざけることになりましたが、「集まらない交流」の一つの方法として効果的な活用をします。</p> <p>③地域関連機関との協働事業 [居場所] 地域住民が気軽に当会に足を運び、共に地域課題を解決していけるような体制を整備します。また、その事業にも積極的にろう者が参画することで、地域住民が自然な形で障がいに対する理解ができるよう取り組み</p>

	ます。また、当会でもSDGsを推進していくこととし、様々な団体とともに連携できる形を作っていきます。
事業実施地域	鳥取県米子市
申請事業期間	(開始月)2021年4月～(完了月)2024年1月
申請助成額	8,925,000円 【内訳】直接事業費 850,000円、管理的経費 0円 評価関連経費 425,000円

■ 審査コメント

- ✓ 事業計画が具体的で実現性が高い。
- ✓ 社会的弱者に対する取り組み、地域からの孤立解消と移転が高く評価できる。
- ✓ カフェやサロンといったコミュニケーション取れる場は意義があり、様々な方に関わってもらうと良い。
- ✓ 高齢のろう者への支援を地域とともに構築していこうとする意欲的な活動への取り組み。目的と提案手法の組み合わせがよくできていて、成果が期待できる提案と感じました。
- ✓ 考え方として良い考えを持っていると思った。ろうあ者への支援を地域からもという、両方向の取り組みが良いと思った。
- ✓ 手話を文字化して当事者が経験したことを文字に残し、社会に公開ということは社会的にも高い意義があると感じた。
- ✓ 企業との連携、ケーブルテレビ、大学生が入るなど動画のプロジェクトチームのようなものを立ち上げ、施設の方だけではなく、この拠点を一緒に活用することを検討するチームがあるといいと感じた。活用をどう充実させるかを検討し、チャレンジをしてほしい。
- ✓ 動画などを撮影できるスタジオを作ると理解したが、そのスタジオが必要か疑問。プロに頼む、プロのスタジオに行くのが良いのではないか。内容や構図などを考えないと人に見てもらえない、その辺りをどう考えているか。活動は評価できるが、スタジオづくりについてはクエスチョン。もう一工夫してほしいと感じた。
- ✓ 評価にも予算を上げていなかったなので、しっかり向き合ってもらいたい。評価の在り方を検討する必要がある。
- ✓ 米子市には中海テレビというお手本になるコミュニティメディアがある。本格的なところは中海テレビの力を借りるなど協働を期待している。申請書の背景にあると思われる、様々な相手と協働してやりたいということを大事にしてほしい。